

インドシアニングリーン (ICG) 蛍光色素 による乳癌センチネルリンパ節生検の経験

おのだ とし なお まきの よし なり たちばな まろみ
小野田 敏 尚 槇 野 好 成 橘 球
うち だ まさ あき なか しま ゆう いち やま ぐち え み
内 田 正 昭 中 島 裕 一 山 口 恵 美
こ やま さち ほ
小 山 祥 穂

キーワード：乳癌，センチネルリンパ節，ICG

要 旨

乳癌はセンチネルリンパ節生検 (SLNB) の結果で腋窩郭清の省略が可能になってきた。今回、赤外観察カメラシステム (Photodynamic Eye: PDE) とインドシアニンググリーン (ICG) 蛍光色素を用いた SLNB を施行したので報告する。方法として乳輪皮下 (皮内) に ICG 溶液 (5 mg/ml) を注入，PDE で SLN を検索した。症例 1 は 3 個の発光するリンパ節を生検，いずれも陰性であった。症例 2 は 4 個の発光するリンパ節を認め，うち最も発光するリンパ節に転移が見られたため Level までの腋窩郭清を追加した。ICG 蛍光色素法は放射線被曝がなく，他の色素法より感度が良く，またリアルタイムでリンパ管の走行を容易に確認できる優れた方法である。今後 腫瘍径 2 cm 以下 (患者の希望で 3 cm 以下) 臨床的腋窩リンパ節転移なし 色素アレルギーなし 乳房や腋窩に大きな手術歴がない症例を対象として積極的に行う予定である。

はじめに

近年，乳癌の術前検査で明らかな腋窩リンパ節転移がない場合，センチネルリンパ節生検 (SLNB) の結果で腋窩郭清の省略が可能と考えられるようになった¹⁾。しかしながらセンチネルリンパ節 (SLN) の同定が困難な症例も経験し，

確実な手技を習得するのにかなりの時間が必要なことを実感してきた。今回，リアルタイムでリンパ管の走行を同行できるインドシアニンググリーン (ICG) 蛍光色素を用いた SLNB²⁾を容易に施行し得たので報告する。

方 法

使用した赤外観察カメラシステム (Photodynamic Eye: PDE: 浜松ホトニクス株式会社) の概要を図 1 に示す。生検方法として，まず通常